記載例（令和7年2月　宮城県作成）

様式第五号（第14条の3関係）

※裏面にセルフレジ「レシート（提出用）」または「宮城県収入証紙」を貼付（37，000円分）

3	1	0

登　録　申　請　書

（第一面）

宅地建物取引業法第19条第1項の規定により、同法第18条第1項の登録を申請します。

カラー写真
1枚
タテ3.0cm
ヨコ2.4cm

申請前6か月以内に撮影した無帽・正面・上半身・無背景のもの

年　月　日 ← 記入日

宮城県 知事　殿

申請者　郵便番号（980-8570）
住　所　宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
氏　名　宮城　太郎

受付番号	受付年月日	登録番号
*	*	*

↖ *印欄は記入しない

項番　◎申請者に関する事項　↙ 姓と名の間を1文字分あける。旧姓使用を希望する場合は，2ページ目を参照。

11	フリガナ	ミヤギ　タロウ
	氏名	宮城　太郎
	生年月日	S 60年 04月 10日　性別 1　1．男　2．女
	郵便番号	980－8570
	住所市区町村コード	04101　宮城 都道府県 仙台 市郡区 青葉 区町村
	住所	本町3－8－1 青葉アパート101
		※ 丁目，番，号，部屋番号をそれぞれ「ダッシュ(－)」で区切る。建物名は，住民票に記載されている場合は記入。
	電話番号	090－○○○－×××
	本籍市区町村コード	04207　宮城 都道府県 名取 市郡区　区町村
	本籍	増田一丁目×番
		※ 身分(元)証明書に記載されているとおりに本籍を書き写す。

確認欄 *

◎実務経験に関する事項

12	実務経験先の免許証番号	04 (1)	99999	商号又は名称	建宅不動産株式会社		
	実務経験先での職務内容	営業		期間	H 30年 04月 01日 ～ R 02年 03月 31日		
	実務経験先の免許証番号	（　）		商号又は名称			
	実務経験先での職務内容			期間	～		
	実務経験先の免許証番号	（　）		商号又は名称			
	実務経験先での職務内容			期間	～		
				合計	2年	0月間	

※項番12は，2年以上の実務経験により申請する場合のみ記入。実務経験証明書の期間と一致するように記入。

確認欄 *

◎国土交通大臣の認定に関する事項

13	認定コード	1	認定年月日	R 02年 05月 01日

確認欄 *

※登録実務講習修了者はコード「1」，修了年月日を記入。2年以上の実務経験により申請する場合，項番13は記入しない。

◎試験に関する事項　↙ 右詰めで記入　↙ 合格証書に記載の合格年月日

14	合格証書番号	99999999	合格年月日	R 01年 12月 04日

確認欄 *

◎業務に従事する宅地建物取引業に関する事項

15	商号又は名称	建宅不動産株式会社
	免許証番号	04（1）99999

↖ 宮城県免許04，大臣00，信託銀行99

確認欄 *

※ 項番15は，現に宅建業に従事している場合のみ記入。勤務先が宅建業者であっても，宅建業に従事していない場合は記入不要

★旧姓を併記したい場合 （例：現姓「宮城」，旧姓「宅建」）

申請者　郵便番号 （ 980-8570 ）
住　所　宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
↙『現姓[旧姓]　名前』
氏　名　宮城[宅建]　太郎

受付番号	受付年月日	登録番号
*	*	*

項番	◎申請者に関する事項 ↙『現姓〔旧姓〕　名前』	
11	フリガナ	ミヤキ゛［タッケン］　タロウ
	氏名	宮城［宅建］　太郎

※ 登録完了後に取引士証を取得した場合，氏名欄に括弧書きで旧姓が併記され，裏面備考欄に「氏名欄の括弧内は旧姓」と記載されます。